

各県本部が大会・総会

山形

小松中央副会長の講演と若い代議員の発言が大きな力に

7月6日第38回山形県本部大会を開催。小松実中央本部副会長を講師に「いまにつながる治安維持法体制に決着を」と題して記念講演。今後の活動に大きな力となりました。

白根澤澄子会長が全国大会の報告を兼ねてあいさつ。小松実中央本部副会長、渡辺ゆり子日本共産党県副委員長の来賓あいさつ、同盟秋田県本部・宮城県本部・山形県労連からのメッセージが紹介されました。

民主団体との共同で治安維持法成立100年の企画、「学習テキスト」による学習運動、顕彰活動の普及、県有権者1%の署名、400人会員の達成、自治体請願への挑戦などの方針を決定しました。討論では、「弾圧の事実を知らせ三桁の署名を集めた」、「会員以外にも学習会を案内し入会」、「自治体請願7回目の挑戦をめざす」、「同盟の学習会に参加し同

盟を知り入会した」(30代の代議員)など9人が発言。元気の出る大会となりました。

大会では白根澤澄子会長、瀬野幸男事務局長が再任されました。(県本部事務局長・瀬野幸男)

秋田

「学習テキスト」の普及と読み合わせ学習を進めよう

7月21日、第35回定期総会を開きました。38人(女性13人)の代議員が出席しました。

共産党県委員会、県革新懇代表が来賓挨拶を述べました。

吉田万三中央本部会長のメッセージが朗読紹介されました。

最上健造会長が「決議案」に基づき、治安維持法100年にあたり、これまでの運動に確信を持ち、新しい歴史をつくるため奮闘しようと呼びかけました。

とりわけ学習と顕彰を強めるうえで「学習テキスト」の普及と読み合わせ学習を進めるよう強調しました。

会員以外の方を誘える学習会と顕彰活動、楽しくためになるフィールドワーク等の計画と実行を呼び

かけました。

報告に基づき12人(女性4人)が発言しました。

「戦争反対で不屈に闘った女性の顕彰の大事さ」、「『不屈』を継続的に届け、快く入会してもらった経験」、「他団体と共同し、自分の言葉を手作りプラスターに書き、スタンディングを続けている」ことなど語られました。



新役員は一部交替があり、最上健造会長、藤田精土事務局長を再選しました。(県本部会長・最上健造)

東京

「大軍拡に抗議し都議選、参院選、衆院選勝利を」特別決議

都本部は7月27日東京文京区で第47回大会を開きました。

メッセージは、東京地評、吉良よし子参院議員など12団体、議員からよせられました。

大会には45人が参加、10人が発



8月23日は1878(明治11)年皇居北の丸の竹橋に宿営していた近衛砲兵を中心に90余名が銃をとって決起し、天皇へ直訴した日だ。要求は1年前の西南戦争からの帰還後の待遇改善の撤回と従軍への恩賞の支給などだ。決起の前月に給金が何と25%カットされた。「どうぞ決起してください」といった挑発だ▼この数字は刑死した砲兵・山中繁蔵の軍隊手帳のメモから算出された。手帳は阪神大震災のとき山中家の焼け跡の蔵から発掘され、国賠兵庫県本部の田中隆夫さんが東京まで届けてくれた。

この40年で最も大きな竹橋に関する発見の一つだ。前年の西南戦争の記録は国立公文書館に大量に残されている。しかし竹橋はほとんど残っていない。間違いなく意図的に廃棄されている▼実は当時、西南戦争を戦った徴兵日本軍の中に自由民権運動が急速に広がりつつあった。これをつぶすために兵士たちは泳がされて一網打尽にされたと考える。(内)

(2ページからつづく)
言しました。



特別講演「岸田大軍拡と『経済秘密保護法案』について」講師佐々木憲昭元衆議院議員が行いました。佐々

木氏は、この間の「秘密保護法」〜「経済秘密保護法」までの一連の悪法を、戦前の「軍機保護法」「国防保安法」と対比。年表・資料を駆使し分かりやすくお話いただきました。

大会では来賓3人が挨拶、発言は大田支部、中央支部で新支部結成。前大会から48人の増勢で1391人の到達。現在、行っている現勢調査で後退が見込まれる分を克服し次期大会で1400人をめざします。

発言では、新しく結成した大田支部は、同盟活動の重要性を自覚し、「種まく人びと」「武器なき闘い」の上映、戦前の大田区での闘いの歴史を学ぶ学習会など積極的に行い、赤旗読者にもよびかけ、24人の会員を拡大しています。

高知 同盟運動の担い手をどう増やすか

治安維持法施行100年の来年4月に「生活図画事件の菱谷さん」とともにゆかりの地を歩き歴史を掘り起こした川島均東京芸大講師が講演します。会長に吉田万三、事務局長に中嶋育雄を再選。
(都本部事務局長・中嶋育雄)

県本部総会は6月22日、会場草の家で開催しました。

中央本部からのメッセージを紹介、日本共産党県委員会書記長の来賓挨拶を受けました。活動報告は顕彰活動として獄死した犠牲者、筒井泉吉・黒原善太郎の没後90周年の墓前祭と追悼の講演会を計画しました。

年間を通し平和資料館・草の家と共同し顕彰活動を行っています。今年は自由民権記念館で笹の墓標展示会を開催しました。幹事会で重視している課題はこの運動の担い手をどう増やすかを心掛けています。女性部のランチ会もその一環として進めています。

今年は今現代史を学ぶ企画を計画し現役世代の交流を初めて実現しました。その反面、国会請願署名数・同盟員自主目標を達成出来ずに終わりました。討論は署名について意見があり、会員の皆様に5筆10筆をお願いする事を確認しました。方針では「伊藤千代子」上映を県下に普及。女性部と連携しランチ会を推進。講演・学習会の定例化を決め、会長・岡村正弘、事務局長・森岡幸一を選出。
(県本部事務局長・森岡幸一)

大分 1年かけて同盟員を1000人に戻す決意

大分県本部は、7月7日(日)に、映画「わが青春つきるとも」伊藤千代子の生涯」と総会を同時に行いました。

以前1500人いた同盟員は、昨年4月、23人。事務局に入った私は、「不屈」の郵送・配布、会費徴収、新年広告連絡等しかできませんでした。県内を見ると、昨年2月急に、大分市数戸の団地・小学校・大学の近くの弾薬庫に、長射程距離の大型ミサイル保管庫建



設の話。住民200人が集結し『大分数戸弾薬庫にミサイルは「いらぬ」と、保管庫建設反対の市民の会を結

成。防衛省は、昨年11月29日、工事を強行、10年かけて保管庫を9棟作ると発表。知識人・学者が抗議、会の声明を発表。今年6月1日、大分数戸と湯布院駐屯地で格上げ、記念式典や装甲車を使ったパレードを行い、ミサイル反対の会は、門前で抗議のスタンディング。8月は日出生台演習場で、実弾を使った合同演習を予定。九州は、南西諸島と共に、敵基地攻撃の基地にされようとしています。そんな中で迎えた総会。上映会

に参集した71人の見守る中、中央顧問の藤田廣登氏より激励の挨拶を頂き、同盟旗と横断幕・ゼッケンが贈呈されました。大分県本部は、1年かけて同盟員を1000人に戻す決意です。同盟は大分数戸ミサイル市民の会に団体加盟、そ

(4ページにつづく)

(3ページからつづく)

の事務局次長が上映会場で同盟に加入。上映会を軸に、共同で、反戦・平和を訴えていくことを活動方針としました。

(県本部事務局長・新角千恵子)

熊本 新たな前進めざして 県本部総会ひらく

県本部は7月14日、2024年度総会を開催し、活動を総括するとともに、向こう一年間の活動方針や役員体制を決定しました。

第1部の総会では、亡くなられた同盟員に黙とうをささげたのち吉田万三中央本部長からのメッセージが紹介され、小田憲郎会長が活動の総括と方針、役員人事などを提案しました。

県同盟はここ数年前進を続け、念願の200人を突破。今総会を史上最高の218人の組織現勢で迎えることができました。

総会ではそのことに確信を持つとともに、岸田自公政権のもとで大軍拡、大増税、「戦争する国づくり」が急ピッチで進められている情勢に照らせば県同盟の力はま

だまだ足りない、県内で「市民と立憲野党の共闘」の一翼を担える組織になることをめざし、次期県総会までに250人にするのを確認しました。

国会請願署名では目標の5000筆には遠く及ばなかったことを反省し、今年こそ5000筆達成をめざし、会員一人一人がまず5筆、10筆を集めることを確認。

九州沖縄ブロック交流集会は10月22、23日に熊本市の神園山荘で開催されます。1日目は記念講演と支部活動の交流。記念講演は、同盟中央本部副会長の小松実さんです。2日目は、大逆事件や治安維持法犠牲者の足跡をたどる顕彰ツアーで、多くの会員の参加を呼びかけました。

総会第2部の記念講演は、現在、同盟長崎県本部理事、長崎映画センター理事の上田精一氏が「日本映画は、治安維持法をいかに描いて来たか」と題して講演。山本薩夫監督の『武器なき斗い』、今井正監督の『小林多喜二』を中心に講演しました。

(県本部長・小田憲郎)

さいたま市南部支部の結成

同盟さいたま市南部支部の結成総会が7月15日、さいたま市で開かれました。



同盟埼玉県本部加藤ユリ会長、日本共産党さいたま

地区委員長の松村敏夫市議が来賓あいさつ。国賠同盟中央本部の永島民男事務局長が「国賠同盟の今日的意義」と題し講演しました。

参加者は、戦前に治安維持法などにより拷問を経験した犠牲者の体験談を聞いた同市南区在住の3人と交流。提案された活動方針や役員などについて、拍手で確認しました。

同支部事務局長に選出された橋本静修さんは当面の活動とさいたま市議会各党派への要請行動や、東京都千代田区神田神保町にある「山本宣治終焉の地記念プレート」を見に行くフィールドワークなどを提案したいと話しています。

(県本部事務局長・大野辰男)

群馬で青年支部結成

平和の大切さを実感した群馬の森フィールドワーク、青年部結成7月21日、高崎市内の群馬の森県立公園で「第9回・群馬の森で『戦争と平和』を考える」フィールドワークを同盟群馬県本部主催で開催し、若い同盟員3人が青年部として参加しました。



1月末に県の行政代執行で撤去された朝鮮人追悼碑の跡地に集う。吉村駿一県本部長が挨拶し、長谷田直之事務局長が追悼碑の碑文を読み上げ説明しました。

バーチャルアブリ「AR朝鮮人追悼碑」を開発した情報科学

芸術大学院大学の前林明次教授が岐阜県から駆けつけ、自らのタブレットに追悼碑を映し出しました。午後、公園近くの圓福寺で1922年9月に青年たちが社会主義の学習グループ「療原会」を作り活動を開始した場所を見学。

(県本部事務局長・長谷田直之)

顕彰碑 探訪

反骨の詩人として知られる

金子光晴

津島市の日光川に架かる橋の袂に、反骨の詩人として知られる金子光晴は(1895(明治28)年

1975(昭和50)年)の出生を示す石碑が14年前に立てられた。光晴は、愛知県海東郡越治村(現津島市)に生まれ、早稲田大学高等予科文科、東京美術学校日本画科、慶応義塾大学文学部予科に学びましたが、いずれも中退。その後、世界を放浪し視野を深めて1921年に帰国した。37年に発表した詩集「鮫」で日本の体制を批判した。「鬼の児の唄」など多くの反戦詩も残した。



長男の徴兵を免れるため松葉をいぶした煙をすわせ、医師にぜんそくの診断書を書いて

らったという逸話もある。

同町内で生まれ育った元美術教師・加藤秋朗(当時74歳)は20代ころ、初めて光晴の詩に触れて、反戦への激しい表現の中にもにじみ出る、人間愛に触れて「ここが、光晴の出生地ということ伝えてい」と、3つの形も大きさも違う根府川石に思いを刻んだ。

碑文は「人間の誇りを輝かせた反骨の詩人/金子光晴は明治二十八年日光橋の袂で生まれた。」と締めくくられている。

(愛知県本部津島支部・河合克平)

【交通】行き方は、名鉄津島駅

でおおりて、名鉄バス(東神守・安松経由)1番ホームより名鉄バスにのり、日光のバス停で下車して、日光川の堤防にむかつて3分間歩くと、堤防にさがり、旧日光橋石柱の横に、川が流れるように、石を配置した碑がある。

戦前、無産者医療の若き牽引者 中島辰猪生誕120年集会

戦前、治安維持法弾圧が荒れ狂うなか、東京、千葉で勤労市民、農民、貧困層の医療活動に献身し、自らも弾圧され、27歳で生涯を閉じた中島辰猪の生誕120周年集会は、宇和島在の母方の遺族・親族を招いて東京で開かれます。吉田万三会長が副実行委員長を務め、記念講演「中島辰猪の不屈の青春」は藤田廣登氏がおこないます。

同盟都本部、葛飾支部、足立支部が実行委員会に参加し、千葉県同盟協賛。

*9月27日(金)午後1時半亀有リリオホール(常磐線亀有駅前) *入場無料 申込・問い合わせ 都本部Tel 03・62400283

中島辰猪生誕120年記念集会のお知らせ
中島辰猪(1898-1925)
日時: 9月27日(金) 12:00開場 13:30開会
会場: 亀有リリオホール
記念講演: 「無産者医療運動に生涯をかけた中島辰猪」
講師: 藤田廣登さん

北海道旅行(3泊4日) 同盟中央本部(国際部企画)

日程: 9月27日(金)~30日(月) 羽田空港発...9時 関西空港発...8時20分

27日、苫小牧・苫小牧図書館(伊藤千代子の直筆の手紙を所蔵)小樽に移動 (小林多喜二関連の地を見学) (小樽市内ホテル泊) ホテルで交流夕食

28日、幌加内。「笹の墓標」ニュージウム」オープンセレモニーに参加。旭川へ。 ホテルで交流夕食 (旭川市内のホテル泊)

29日、三浦綾子文学館、十勝岳西田信春の碑を見学 (札幌市内ホテル泊) 30日、 北海道大学校内見学 (宮澤・レーン事件関連の地) 大学食堂で食事

新千歳空港発羽田空港着18時5分 新千歳空港発関西空港着18時15分 (詳しくは富士国際旅行社に問い合わせ) Tel 045・212・2101

抵抗の群像



戦前、戦後共産党に出会って 人間として最高の幸せと誇り

むこうやまたけお
向山猛夫

向山猛夫さんは1992年4月28日「同盟練馬支部」を都内で5番目に結成しました。結成は青柳盛雄中央本部会長はじめ4支部から来賓を迎えて行われました。都本部の常任幹事でもあった向山さんが初代の練馬支部長になりました。向山さんは1911年(明治44年)新潟県生まれです。父親は小、中学校の教員で、クリスチャンでもありました。

向山さんの小学校時代は大正デモクラシーといわれる雰囲気の中で育ち、29年に中学校を卒業。そのころ世界経済恐慌が押し寄せ工場では労働者の賃下げ、首切り反対のストライキ、農村では小作争議、学園でも同盟休校が頻発し学生の放校、退学処分、裁判闘争も起きるなど社会の各方面で紛争がおこり、就職難で大変な時代でした。一方、天皇中心の国家主義、

軍国主義の忠君愛国主義を信じ込んでいた向山さんもその一人でした。28年3月15日、翌年の4月16日、共産党大弾圧事件起きた時代でしたが、新聞報道を信じて共産党が悪者と思っていました。ところが、29年高校に入学すると社会問題に関心が強くなり科学的社会主義に関する本を読むようになり、2年生2学期の9月生徒大会が開かれ、突然授業放棄し同盟休校がおこりました。生徒側の要求は①無能教師を辞めさせる! ②文芸、演劇、学校新聞を圧迫するな! ③生徒の処罰は教師の独断でなく生徒側の言い分も聞け。という事でしたが、学校と警察からの圧迫で3日後には解散させられました。退学、停学などの厳しい処分が出ました。向山さんはストライキ、民主主義、警察とは何か学ぶ機会になりました。

31年9月には「満州事変」が起きて中国への侵略戦争に最も強く反対している政党が日本共産党だとわかるようになりました。教育と学園の反動化に学生の抵抗運動が続けられました。向山さんは、翌32(昭和7)年高校を卒業して上京し、東京帝国大学に入り、社研、新人会など友人の紹介で待望の「赤旗」が読めるようになった時の感動は今でも忘れられないと語っていました。

その後、毎月共産党に5円をカンパし、会議に自分の部屋を貸すなど共産党支持者(シンパ)として活動するようになりました。銀座の反戦デモに参加し逮捕され、「滝川事件」で学生大会に参加したとして本富士署に留置されました。33(昭和8)年2月小林多喜二が築地署で虐殺。7月に原宿署の特高が治安維持法違反容疑だと向山さんを自宅から連行し10月末まで約100日間留置され死を覚悟するほどひどい拷問を受けました。特高や検事に共産党の「赤旗」を読み、カンパした事を無理やり認めさせられ「反省文」を書かさ

れ釈放されました。練馬に転居した翌年35(昭和10)年大学を卒業しアルバイトなどを2年余りやり、愛媛県の中学校に1年半勤務したあと、千葉県の中学校に転勤。動員令で近くの陸軍飛行隊で8月15日の敗戦。原宿署で逮捕されてから12年間、特高の監視下に置かれ、人間としての自由が奪われた暮らしでした。

戦後、結局は侵略戦争に協力させられた事への深い悔恨と反省の上に立って、教え子が戦場に行くのを傍観するような教師に決してなるまい、真理を教える民主的教育労働者になろうと誓いました。レッド・パージとの闘い、新潟の2つの高校に勤務。勤評闘争、安保闘争、職場の民主化闘争を闘うなかで46年2月、日本共産党に入党しました。戦前、戦後共産党に出会って活動してきて人間として最高の幸せと誇りを心の支えとして頑張ると語っていました。享年86歳。

(都本部練馬支部長・矢澤重光)
「わが遍歴」「不屈」都本部40周年記念誌「不屈練馬版」創刊号

同盟文芸

短歌

碓田のぼる選

「戦場の話がしたい」友は言う今なら出来る99歳

兵庫県 岸本 守

顔隠し通路で眠る君見るは帰郷の夢か団欒の夢か

埼玉県 白川 洋子

同盟の新会員の誕生日連れ合いの妻ほほえみやさし

静岡県 江川 佐一

夏の日如初老の力負けぬよう良き世を築く不屈の文字

東京都 中村 茂樹

「原爆の父」オッペンハイマー涙を流して謝ったという証言心打ちくる

島根県 小玉 信恵

イスラエル支持のバイデンに抗議する米国の若きらの正義たのものし

大分県 渡辺 幹生

転居後の新しき町の平和行進見知らぬ人と交わす挨拶うれし

岐阜県 田中 良

どこまでも青田の続く下総か道行く先に筑波嶺がたつ

埼玉県 福家 駿吉

軍拡や大企業には易々と金を回すも民には冷たし

岐阜県 和田 昌三

青空とヒマワリ畑映えいと盆に帰省の孫と見に行

岩手県 牛山 靖夫

〈選のあとに〉岸本作品、99歳ではじめて戦争の話をする友の痛切さに思いをよせる。白川作品、ホームレスの人に寄せるしみじみとした人間愛。江川作品、同盟の新会員となった喜びと、誕生祝いの二重の喜びを妻もともにしているほほえましさ。

東京都 稲邑 明也

大阪府 大和 峯二

埼玉県 福家 駿吉

俳句

望月たけし選

死者と立つガザよキープよ広島忌

埼玉県 小池 荘八

キープガザ向日葵咲かそう武器捨てて

三重県 橋本しげる

ガザも暑さと死者バチカンの沈黙は

東京都 岡崎たかね

列島八月フクシマには三月の空

神奈川県 天野三葉子

戦死せし兄夢に見る夏来れば

兵庫県 岸本 守

〈評〉キープはウクライナ語名「キープ」。戦争による死者が急増している。原爆を投下された日本の八月のようにパレスチナ地方にあるガザも惨状だ。どの句も戦争告発の思いを強く込めて。

川柳

鈴木いさお選

地位協定すぐに忘れる沖縄忌

北海道 三隅 雅游

〈評〉毎年沖縄忌が巡りくる度に、戦争というものの酷さ痛感する。折角の地位協定を有名無実にしな

いよう、両国の新トップ(?)に期待したい。

朝ドラの終戦描写に思い込め

大阪府 佐々木雅博

アメリカの景気後退望む円

東京都 稲邑 明也

毎日が心配になる気象危機

大阪府 大和 峯二

大軍拡国民暮らし赤信号

埼玉県 福家 駿吉

鍛えられた現代俳句

一句作投稿を根気よく

俳句選者 望月たけし

一九四〇年(昭和)治安維持法による俳句弾圧事件が起きました。

(六次に渡り42名検挙)その一人、検挙投獄された橋本夢道は(大戦起るこの日のために獄をたまわると詠んでいます。

弾圧は、天皇制国家が戦争(アジア太平洋戦争勃発)に突き進むためでした。この希有な悪法治安維持法が、来年施行から100年になります。

岸田政権が行っている「戦争国家づくり」のための大軍拡の狙いが、戦争と暗黒政治への逆行だけに、私たちはあらゆる力を使ってこれを阻止しなければなりません。現代俳句は、弾圧や論争で鍛えられ、いま「俳諧自由」の創造活動期にあります。

同盟文芸の存在を理解し、自分に合った方法で句作投稿を根気よく続けて下さい。

終戦79年 2024年8月15日 岸田自公政権の「戦争を国づくり」に反対!

シリアを先発して、全世界に対し平和の意思を表明すべきです。

世界から 核兵器をなくそう

2021年に国連の核兵器禁止条約が発効し、現在、締約国は70カ国となりました。日本こそ核兵器禁止条約に参加し、憲法9条を生かして全世界に対し平和の意思を表明すべきです。

許せない! 沖縄での米兵の性犯罪

「基地軍隊を許さない行動する女性たち」の会が、まとめた資料では、1945年の沖縄戦時から2021年までの76年間に沖縄の女性約950人がうけた暴力の数がつづられています。人権を踏みしめる性犯罪を根絶するためにも、すべての県民・国民の団結のもと「米軍基地は撤去せよ」の声を入り広げましょう!



米兵による女性暴行事件への緊急抗議集会(沖縄市の米軍嘉手納基地第2ゲート前 6月28日)

これからも憲法9条で 戦争をしない日本へ

日本は、ポツダム宣言を遂行して1945年8月15日、連合国に降伏しました。この15年にわたる戦争で国内310万人以上、アジアで2000万人以上の犠牲をたしました。ふたたび侵略戦争の過ちを繰り返さないよう憲法で不戦の誓いをしました。

治安維持法犠牲者 国家賠償要求同盟とは

治安維持法が公布されて来年で100年。この悪法で戦前、戦争に反対した多くの人々が、弾圧されました。その数は、数十万人に及び、うち警察、刑務所で拘束により93人が虚死され、死者は400人以上です。政府はいまだに「治安維持法」は正当な法律だとして犠牲者への謝罪も賠償もしていません。私たちは、毎年「ふたたび戦争と暗黒政治を許さない」と、政府に侵略戦争を反省し犠牲者の名誉回復を求めて国会請願をしています。

STOP! イスラエルは ガザへの侵攻を止め 即時停戦

ふたたび戦争と暗黒政治を許さない 戦争への大軍拡やめ憲法とくらし守れ

治安維持法犠牲者国家賠償要求同盟

イスラエルのガザへの侵攻やめよ、と訴える吉田万三会長

- ロシアのウクライナへの侵略
- イスラエルのガザへの強行
- 戦争するための 軍事費2倍化43兆円
- 国産戦闘機、ミサイルの製造
- 治安維持法につながる 経済秘密保護法

治安維持法犠牲者国家賠償要求同盟中央本部
〒113-0034 東京都文京区湯島2-4-4 平和と労働センター内
Email: chian@bz03.plala.or.jp TEL: 03-5842-6461 FAX: 03-5842-6462

- ### 事務局日誌
- 7月4日 沖縄暴行事件スタンディング
 - 7月7日 都知事選挙投票開票
 - 7月10日 沖縄暴行事件抗議
 - 7月11日 会長・事務局会議
 - 7月12日 共産党中央委員会表敬訪問
 - 7月13日 近県女性部会議
 - 7月25日 委員会
 - 7月27日 日本母親大会実行委員会
 - 長崎県本部大会

【訂正】

本紙6月号6ページ抵抗の群像の筆者、田中隆夫さんは県本部理事でした。

本紙7月号7ページ「文芸欄」川柳の部、最後の句の作者は、神奈川県の大野から天さんでした。

三役が共産党中央委を表敬訪問

吉田万三会長はじめ同盟三役は7月11日、共産党中央委員会を表敬訪問しました。共産党からは、土方明果、堤文俊両常任幹部部会員、柳沢明夫法対部長が応対し懇談しました。土方氏は「治安維持法は、今に通じる問題だ。自民党政治を变えるという共通の課題で喪に取り組んでいきましょう」と述べました。

2024年春季号 (47号)

『治安維持法と現代』

好評発売中



◆治安維持法犠牲者に国家賠償を求める請願の23年度紹介議員のみなさん(衆・参両院一覽)◆【巻頭】自民党の教育政策の功罪=前川喜平、緊急事態改憲論の問題点=小沢隆一、経済安保秘密法案の危険な仕掛け=井原聡【学習コーナー】自民党派閥の裏金事件の組織的犯罪=山本豊彦、「維新の会」をどう見るか=小松公生、柳河瀬精氏が遺した仕事=小松実【話題の現場】「唯一の全国紙」掲げる読売新聞=大手町ー【エッセイ】「立春大吉」を語る=浅尾大輔【闘いと抵抗の群像】長野2・4事件と信濃教育会、満蒙開拓青少年義勇軍=立沢和樹、ダダ・カンスケの生涯=江崎淳、内金光と治安維持法=田中徹歩【研究】三閉伊一揆170年=牛山靖夫、治安維持法下の東北のたたかい=土井洋彦【同盟活動】滋賀・兵庫・島根・岡山・千葉・愛知・石川・北海道・山梨・東京

治安維持法と現代を結ぶ運動理論誌 定価1000円、申込みは中央本部・各都道府県本部へ。